

令和6年度 第1回 西宮市スポーツ推進審議会 (議事録)

日時： 令和6年6月18日(火) 午前10時00分 ～ 12時00分

場所： 西宮市立中央体育館 1階 会議室

出席委員：会長・小坂委員、副会長・中村委員、角南委員、徳村委員、則包委員、錦織委員、
佐藤委員

欠席委員：安田委員、林委員、米倉委員、平野委員、

事務局出席者：長谷川産業文化局長(冒頭のみ)、田中文化スポーツ部長兼運動施設整備担当課長、
越知文化スポーツ課長、文化スポーツ課(係長：釘田・角柿、主査：山村、副主査：
野畑・植田)、学校教育課(指導主事：岡田)

傍聴者：なし

【開会挨拶】

長谷川産業文化局長よりご挨拶。

【委員紹介】

各委員より自己紹介。

【職員紹介】

越知課長より紹介。

紹介後、長谷川局長退出。

【会長・副会長選出】

徳村委員より小坂委員を会長に推薦。小坂委員承諾、全委員が拍手にて承認。

小坂会長より中村委員を副会長に指名。中村委員承諾、全委員が拍手にて承認。

進行を小坂会長に交代。

< 議事内容 >

○ 【審議事項】(ア) 関係団体に対する補助金の交付について

【事務局】

(資料に基づき説明)

(1) スポーツクラブ21補助金について

(2) 一般財団法人西宮市体育協会補助金について

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

予算については基本的に前年度実績に基づいて決められるのか。いつ予算が決まるのか。

【事務局】

そのとおりである。前年度実績に基づいて作成され、議会の承認で決定される。

補助金の減額がされているのは備品の購入に対する補助金の減額である。前年度について一部使用されなかった為減額となった。

[会長]

承認でよいか

<一同拍手>

○ 【報告事項】(ア) 学校教育課関係報告

【事務局】

(資料に基づき説明)

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

教員不足等でこれまで体育に携わっていなかった教員等が体育担当者となる可能性があるが、体育担当者以外の研修は考えられているか。

【事務局】

考えている。

[会長]

副会長が実施した研修会はどうだったか。

[副会長]

普段、学校では取り入れられていない種目を紹介させていただいた。和気あいあいとした雰囲気
で実技をしていただけた。先生方の授業で活かしていただければと思っている。

○ 【報告事項】(イ) 文化スポーツ課関係報告

【事務局】

(資料に基づき説明)

[会長]

令和5年度は例年通りに事業実施できたとのことだが、資料ではコロナ前の数字が分からないが、基本的にすべてコロナ前の水準に戻っているということによいか

【事務局】

戻ってきているという認識である。

〔会長〕

現時点で基金が残っている SC21 がまだ 6 クラブあるが、活発に活動している SC21 と停滞している SC21 があるということか。どのように把握しているか。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

各 SC21 の事情によるが、万が一の備えとしてお金を残している場合が実情かと。この資金の使途について報告義務はあるのか。

【事務局】

詳細な報告は求めているが、使用する際には申請が必要である。基金については設立時の運営費用として県からもらっているものなので、基本的にはこちらから使ってほしいと思っている。

（※なお、SC21 の報告について、前年度の収支決算書と活動報告書は年度当初に SC21 から提出いただいている。）

〔委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）〕

オリンピックイヤーの為、スポーツへの関心が高まると考えており、スポーツを「見る」事業を出来たらと思う。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

見るだけではなかなか「する」方向に繋がる事例が少ないので、見るだけでなく「する」方向に繋がられるようなものにしてほしい。観戦だけを楽しむ人もいるので、行動に結び付けられるようなイベントなどがあればよいかと。

〔委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）〕

パイがないといけないと思う。よって、最初はやはり関心を持つという仕掛けが必要かと。どうしてもパイが少ないと、「する」方向へもっていくにも先細る。その為、まずは見ることで関心を持ってもらうことからではないかと思うので、やはり仕組みづくりからかと。

〔委員：スポーツ関係者（生涯スポーツ）〕

見て、「やりたい」と思う子供たちは結構多い。そして、SC21 のように地域にバレーボールがあるという点で一歩入りやすく、一定受け皿になっていると考えている。

〔会長〕

一方、中体連ではいくつかの競技の全国大会の廃止もニュースがあったが、そのあたりはどうか。

〔委員：スポーツ関係者（学校体育）〕

廃止となった競技は、部活設置数や人数によって決定した。水泳は中体連としては廃止となったが、日本水泳連盟が同じような形で実施する。大会運営費と生徒数の減少もあり、また見てくれる顧問の先生も減っており、様々なことが相まってどうしても大会縮小をせざるを得ない。参加人数、運営費も30%減額しないといけないとなった。子供たちの運動機会の確保が大事であり、地域移行についても簡単に手を放してしまうと子供たちのスポーツに触れる機会が減るので、丁寧に進めていくことが必要である。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

救急救命講習会については、対象はどの範囲か。参加人数が少ないのではないか。

【事務局】

当課で実施しているものの参加者数。プール開放事業を実施するにあたり、有資格者が必要。プール開放事業に向けて資格取得を目指している人が対象である。

【事務局】

（施設利用状況について資料に基づき説明。）

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

指定管理をする企業に対して、稼働率の目標条件みたいなものはあるのか。指定管理者が能動的にアピールすることはないのか。利用状況が下がっているのは、「知りたい人」に届いていないのではないかと感じており、指定管理者の広報に関する努力が足りていないのではないかと考えている。

【事務局】

事業計画書をもとに提案等をもらっているが、なかなか平日・北部の稼働率の増加は見込めていない。自主事業等で稼働率を上げようとはしてもらっているが、厳しいのが現状。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

稼働率はどのように算出しているのか。

【事務局】

利用数÷利用可能区分を用いて稼働率を算出している。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

明日急に運動したいと思ったときに気軽に使える運動施設を見つけるハードルがもう少し下がればと思う。また文化活動としての使用が出来たらいいのには思う。そうすれば、他の施設での文化活動同士の音のトラブル減少や、稼働率上昇にも繋がると思うのだが。

【事務局】

会議室などでも一部目的外使用を認めたりして稼働率アップを目指している。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

施設は近隣に住んでいる人だけでなく、それ以外の人にも利用してもらうようにしないとイケない。アクセス方法や施設を利用できるという広報が必要ではないか。

また、来場者のアクセス方法、施設の立地、施設周辺の世代など分析していかないと、なかなか稼働率を向上させるのはむずかしいのではないか。施設予約の方法についても登録をするのが面倒である。もっと気軽になればと。一日使用券等を用いるのもよいかもしれない。

〔会長〕

普段利用している人頼りになると、その人たちが使わなかったときに極端に稼働率が下がる状況は改善が必要かもしれない。

〔委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）〕

体育室や会議室等目的が違っているものをまとめた稼働率の算出となっている為、目的別に算出することもよいかもしれない。

【事務局】

目的別でも算出している。

〔委員：スポーツ関係者（競技スポーツ）〕

運動施設稼働率はどれくらいが適正なのか。どこに目標を持っているのかというのが見えづらい。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

70%を超えれば良しとするのかなど、だいたいそれくらいの設定は必要かと思われる。

また、予約制のところ、当日の突然のキャンセルについて、空いた周知をすることも困難であることから、ペナルティではないが、何か対応策を考えておくのもよいかもしれない。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

どの時間帯が空いているのかを知りたい。平日昼間とかだと社会人や学生は使えない。日中使える人は限られているので、そのような人たちにアピールしていくのがいいのでは。

【事務局】

「スポーツネットにしのみや」で、空き状況はわかるようになっている。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

スポーツネットにしのみやを知らない人もいる為、アクセスさせる為の仕組みが必要である。老人会や自治会等へのアナログ的なアプローチもあった方がよいのではないだろうか。

○ 【報告事項】(ウ) 第2期西宮市スポーツ推進計画

【事務局】

(資料完成について、各方面への配布報告と、作成に際してご指導いただいた御礼を述べる。)

[会長]

是非、多くの市民に見ていただいて、スポーツに関心を持ってもらえたらと思う。

○ 【報告事項】(エ) 西宮市における中学校部活動の地域移行について

(資料に基づき説明)

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

検討課題⑤の指導者資格について、コーチングやコンプライアンス等も含めてほしい。
また、指導者に対しても定期的なセルフチェックも必要だと思う。持続性の確認が大事。

【事務局】

承知した。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

指導者の謝金について、全指導者一律ができるのか。学生とある程度指導者としてのキャリアがある人が同一賃金で行けるのか。受益者負担のところでは指導者謝金に上乗せなどではできないのか。

【事務局】

トップアスリートを誘致した際の謝金は通常高い。子供たちのスポーツの推進において、あまりにも高い謝金は、全体の受益者負担が膨大化してしまうことから、「体験・機会の確保」という観点からも逆行することになるので、まずは一律を目指している。一方で、強くなりたい地域クラブにおいては、受益者負担外の「超える費用についてはチーム個別に集める」のところでは、良い指導者を呼んでいただくというのも一つの方策なのかもしれない。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

そういうアイデアを伝えておいてあげれば、運営主体でも実施主体のところでも、このチームの特色としてはこうだからと、いい意味で指導者の差別化に繋がると思う。

【事務局】

おっしゃるとおりで、フラットな状態でスタートを切る一方、やはりチームとして伸びていきたいという思いも芽生えてくるかと思うので、その時にどのような対応をしていけるかという点は今後検討していかないといけない。

[委員：スポーツ関係者（市民公募）]

あと、指導者の質はかなり差がある。セルフチェックももちろん大事だが、第三者からのチェックがあつてちゃんとやるということも往々にしてあるので、それも必要だと感じる。一方、指導

者に対する苦情等のマイノリティ意見だけを反映するのも駄目で、正当な評価ができて初めて指導者としても安心して活動できる。また、どうしても指導者と合わない子供もいるので、別チームに移動できるような選択肢があることが大事だと考える。楽しむチーム、強くなりたいチームそれぞれあって、選択できる仕組みを運営主体の中で作ってあげることが大事だと考える。

【事務局】

部活動地域移行協議会の永田会長も、「楽しむチーム、強くなりたいチーム、別チームに移動」などについては、スタートこそ基本横一線であるが、最終形態は同様に考えられている。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

部活動の地域移行はあくまでも地域へのスポーツの浸透であるので、強くなる目的は部活動地域移行の趣旨とはずれるのではないか。強くなりたい子供はクラブチームに行けばいいのでは。フラットな状態から強いチームが生まれるのなら、そのノウハウを共有すれば良いのかとは思いますが、競争を持ち込むと、パワハラや弱者の排除などに繋がるのではと危惧する。

【事務局】

あくまでスタート時点では、まずは仰る通りフラットな状態でスタートを切りたいと考えている。しかしながら、今後の方向性は実施しながらでないといけない部分はあると考えている。例えば、伸びていくことを目指すチームは民間のクラブチームなどに置き換わっていくのかなど、長い目で見ていかないと分からない部分があるのかなというのが、正直な感想である。

〔副会長〕

指導者を広く募りたいということでハードルを下げ過ぎた場合は、問題が起きてしまうのではないか。一定の資質を確保するということと、記載されている項目も大事であるが、これまでは学校の先生方が指導者として担っていただいていたことから、子供間のトラブルなどの対応であったり、先生側からの子供たちへの接し方など、「こういうところを大事にしてほしい」といった研修が内容として入っていた方が良いかと思われる。

また、研修についても指導者は無料で受けられるということになるのか。

【事務局】

今のところ研修費用を徴取するイメージはない（有料にすることで、指導者等へのなり手としてハードルが上がりかねないゆえ）。

〔副会長〕

無料で受けられてしまうと、「聞いておけばよい」という姿勢になってしまうことを危惧している。研修費用を幾らかでもご負担いただくのも良いのでは。無料では「受けておけばいい」という感じになる可能性もある。ご負担になり過ぎない額を検討する必要はあるが、指導者の一定の資質を確保することも大切だと考える。

【事務局】

確かに研修費を実費負担で幾らかでも取ることによって、一定そこでフィルターをかけられることにより、真面目でやる気のある方が入ってくることに繋がるかもしれない。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

研修を終えたあとテストを実施することや、定期的なセルフチェックなどで確認でき、有償とすると謝金との天秤にかけてしまうことになるので、基本的には無償のままで良いのではと考える。登録時に次回の受講を義務付けるとか、任期制にするとか、条件を附すことで対応できるのでは。

〔副会長〕

テストをするのなら合格基準を設けて基準に満たなければ落とすなど、指導者の一定の資質を確保する方法は、どのような方法でも良いが、もし仮に研修には出たが寝ていて、セルフチェックも適当にするような人が地域に指導者として出ていくようではトラブルになる。

〔委員：スポーツ関係者（市民公募）〕

だからこそセルフチェックの内容が重要で、高度なものにしなければならない。ただ講義をして終わるというだけでは、研修の価値は失われる。

〔副会長〕

受講料を負担してでも、子どもと関わりたいと思っていただける方に、指導者になっていただきたいという願いである。

【事務局】

双方貴重なご意見として、今後検討していきたい。

○ 【その他】

（最後に各委員より一言いただく。）

〔越知課長〕

施設の指定管理について利用料金制へ変更していく。

松原体育館から導入。その他の施設に広げていく。

指定管理者の収入となる。指定管理者が稼働率を上げるモチベーションとなる。

当審議会は、年2～3回程度開催する。開催前には、また日程調整するので、ご出席のほどお願いしたい。

それでは本会を終了とする。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

以上